

2004

アウトドアに特化した環境対応型自動車

Eco-friendly Vehicle for Outdoor Life

AD04 井田 龍秀
AD42 山本 優太郎
指導教員 杉島 一男

1. 研究目的

近年、地球環境問題が人々にとって身近なものとなってきている。現在、様々な技術が発展し「エコカー」と呼ばれる自動車が大量に発表された。しかし、アウトドア専用のエコカーというのが一台も発表されていない。アウトドア専用だからこそ自然環境を考えたエコカーにするべきだと思う。さらにはターゲットを若者に設定し、エコへの意識が低い若者にエコへの意識向上を狙った。そこで遊びに特化した環境対応型自動車として、水素燃料電池を利用した新しい魅力を持った自動車を提案する。

2. 調査と分析

人々のライフスタイルが変化してきており、平日は都会で仕事、休日は郊外へ出て自然やアウトドアを楽しむ「アウトドア・自然回帰志向」の人々が増加してきていることが調査から分かった。アウトドアスポーツを楽しんでいる人々は自らの車をそのアウトドアスポーツ専用に変造しており、トランクの改造が多く荷物の積み方を第一に考えられた工夫が多かった。そこからアウトドアスポーツを楽しむためには効率の良い荷物の積み方が必要だと感じた。そこで若者に人気のあるボディボード、スキー・スノーボード、シンプルキャンプなどの遊びに特化して、収納性を考察し魅力的なデザインを提案しようと考えた。

3. コンセプトの立案

- ①若いカップルが二人でアウトドアを楽しむ自動車。
- ②今人気のアウトドアスポーツに対応したトランクを有する。
- ③アウトドア用というのが分かる外観でありながら近代的で都会的なエクステリア。

4. デザイン展開

水素燃料電池を利用したことで車内のレイアウトの自由度が上がった。そこで、新しいトランクをデザインするに当たって、今回は上に挙げた3つのアウトドアスポーツを中心に効率の良い荷物の積み方のできるトランクを考えていった。これらのアウトドアスポーツに共通して言えること

が、大きい物と濡れる物、細かい道具や小物という荷物が出るということ。そこでまず、居住空間とトランクを完全に分けるというレイアウト考えた。実際に1/1スケールのトランクの検証モデルを作成し荷物の積み方、種類などを中心に検証を行った。そこで、さらにトランクも大物で濡れ物専用のトランクと、細かい道具や小物を入れるトランクに分けることが必要だということが分かる分かった。大物や濡れ物を入れるトランクは荷物の入れやすさとスペーシングを考えボディの横から荷物を積み込む方法にした。小物や道具を入れるトランクは自動車の後ろにあり、荷物を積む他に軽く腰掛けられたり、荷物を置く台になるようにし、道具としての使いやすさを求めた。

5. 完成図



6. 結論

実際にアウトドアスポーツを楽しむ若者に検証してもらった。荷物の積み方に関しては、ジェットバックをつけなくてもアウトドアスポーツを楽しめるのは嬉しい。トランクが分かれたことで汚れを気にしなくてすむ。手入れが楽。などの意見をいただいた。しかし、一目で使い方が分からない。盗難に遭いそう。などの意見もあった。スタイリングに関しては近代的で格好いい。可愛い。コンパクトカーなので色々な所に行けそう。などの好評な意見も多かった。スタイリングは女性の方が高評価だった。一方でフェンダー、ボディラインにアウトドアらしさが感じられない。ジープの様な車の方が好ましい。家族でも楽しめるようにしてほしい。などの意見もあった。

7. 参考文献

- 「国土交通省ホームページ」
<http://www.mlit.go.jp/index.html?token.html>
「ちょっとおでかけ・・・」
<http://kiyotaka214.naturum.ne.jp/e791736.html>